

# 第8回 9条の会東北交流会

9条改憲に反対する根強い世論をかわすために、安倍首相は「自衛隊の存在を明記しないと可哀想」という同情心を利用し（警察官や消防士は憲法に明記なし）、「9条の1項2項はそのまま」と安心させて改憲をしようとしています。そんなごまかしに乗っては大変なことになると、いま全国で「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一3000万署名」の運動が広がっています。

自衛隊を9条に明記することは、日本が「戦争する国」に変わる、最初の一步になります。戦争に近づくことは、一步でも許さない！憲法を生かした平和な日本を子どもたちに手渡したい！その願いのために、東北の力をあわせていきましょう。

参加費無料

**2018年**

**3月20日（火）13時～16時**

**アイーナ8階812号室**（盛岡駅2F西口から連絡路で徒歩5分）



□ 学習講演会（13：05～15：00）

**改憲発議を止めなければ**

**ならないこれだけの理由！**

～国民投票に頼るのではなく

**3000万署名運動で憲法を守ろう～**

**講師 高田 健さん**

高田氏は、現在、総がかり行動実行委員会共同代表、「市民連合」運営委員会、九条の会事務局を務めています。

2010年に、第1回東北9条交流会を立ち上げた際の報告者をお願いした縁があります。3月には憲法審査会などが始まり、政府の動きや、3000万署名運動の最新状況を話してくれます。

改憲反対の運動団体の中には、「勝負は国民投票で」と改憲国民投票を積極的に進める意見があるが、それは重大な勘違いだと高田氏は警鐘を鳴らします。なぜなら、国民投票法自体が重大な欠陥を持ち、国民の民意を正當に反映できないからです。国民投票運動には、公正を期するための歯止めがなく、豊富な資金を持っている改憲派が、お金の力で「改憲の世論」をつくる危険性が強いことが以前から指摘されています。

全国の運動の情報を最もよく知っている高田氏に、運動の先進例や3000万署名の展開状況を聞き、陽春を浴びながら5月末までもう一段運動を広げるための智慧や工夫を学びあいましょう。

□ 全体交流会（15：00～16：00）

各県の取組みを発表し交流します。参考にして、自分たちの目標達成にむけて誓いを固め合しましょう！

主催：第8回9条東北交流会実行委員会

連絡先：岩手県生協連019-684-2225 FAX：019-684-2227